



施肥コスト削減につながる 土壌診断・施肥設計プログラム

経営情報研究部・農業環境研究部

土づくりには土壌診断に基づいた施肥設計が重要です。経営情報研究部・農業環境研究部では、土壌分析機関が使用する土壌診断プログラムと、生産者及び指導機関が使用する施肥設計プログラムを Microsoft Excel office 2003 により開発しました。

次のURLからダウンロードして利用することができます。

<http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/dojoprogram/index.htm>

ぜひご利用ください。

施肥設計プログラム
土壌改良の必要成分量、余剰肥料成分量から資材・肥料の投入量、及び、肥料コストを算出します。 神奈川県農業技術センター作成

年 月 日
2008 11 9

ID番号 1

生産者名 神奈川県 上吉沢1617

圃場名

栽培面積 (a) 10 初期値は10a

土壌種類 灰色低地土

分析値 (kg/10a)

分析値	土壌改良 必要成分量	前作までの余剰肥料成分量
pH(H ₂ O)	CaO	MgO
5.3	44.0	40.0
	K ₂ O	P ₂ O ₅
	0.0	0.0
	NO ₃ -N	P ₂ O ₅
	0.0	0.0
	K ₂ O	
		13.0

堆肥等予定施用量 (kg/栽培面積10a)

堆肥・乾燥糞・緑肥名	窒素 N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	石灰 CaO	苦土 MgO	予定施用量
家畜糞堆肥 牛糞	0.22	0.87	1.31	2.10	0.65	0
-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0

土壌改良 候補資材選択 (円/20kg)

目的成分	資材名	窒素 N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	石灰 CaO	苦土 MgO	アルカリ度	20kg単価
リン酸	重焼リン	0	35	0	0	0	0	0
苦土石灰	顆粒タイニー	0	0	0	34	15	0	2,000
石灰	炭カル	0	0	0	47	0	0	1,000
苦土	硫酸マグネシウム	0	0	0	0	0	0	1,500
カリ	塩化カリ	0	0	60	0	0	0	1,500

元肥 候補肥料選択 (円/20kg)

目的成分	肥料名	窒素 N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	20kg単価
窒素	複合機加安42号	14	14	14	2,400
リン酸	重焼リン	0	35	0	2,000
カリ	塩化カリ	0	0	60	1,800

カリが過剰になります。窒素、リン酸にはカリの少ない肥料を選択してください。

結果表示

現 選択資材・肥料で設計した際の各成分の過不足 (kg/10a)	窒素 N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	石灰 CaO	苦土 MgO
余剰量				13	
不足量					

現 選択資材・肥料で設計した際の費用 (円)

土壌改良	元肥	合計
25,500	15,714	41,303

堆肥の種類と予定投入量を入力すると、堆肥由来成分を考慮して肥料を削減します。

候補となる改良資材や肥料は自由に追加・変更できます。

選択した肥料で設計した場合のコストを表示します。コストを考慮して肥料を選択することができます。

図1 施肥設計プログラム 入力画面

■元肥		施用量		コスト	
目的成分	資材名	栽培面積10a当重量	栽培面積10a当袋数	栽培面積10a当円	
窒素	複合機加安42号	107 kg	5.4 袋 20kg入	12,857	
リン酸	重焼リン	29 kg	1.4 袋 20kg入	2,857	
カリ		kg			
合計				15,714	

図2 プログラムが出力した施肥設計結果の例 (図は結果の一部)